



## 地域のチカラに 地域おこし協力隊



▲日野菜を栽培する谷口智哉さん

平成27年から、地域おこし協力隊としてご活躍いただいた谷口智哉さん。今年の8月をもって任期が終了となりました。今回は、谷口さんの活動や日野の印象についてお話を伺いました。

### 日野町に来たきっかけは？

生まれと育ちは富山県です。日野に来るまでは13年くらい京都でサラリーマンをしていました。妻が妊娠して、自然に触れ合える環境で子育てしたいと思ったのがきっかけです。調べていると、地域おこし協力隊という制度もあって、日野町で募集をしていたので来させてもらいました。

### 地域おこし協力隊でどのような活動をされていますか？

地域おこし協力隊の活動は2つあります。

- ① 定住に向けた活動
  - ② 地域の活性化につながる活動
- 定住に向けた活動は「農業」。空き家登録制度で鎌掛の家があったので、こちらに住むことになって、移住して

初めて日野菜に出会いました。もともと農業を習得したいと思っていたので、日野町でこれからも日野菜を育てたいと思います。

地域の活性化につながる活動は、「発見と交流で日野町のファンを作り増やすための活動」と「日野町の自然や歴史・伝統等の地域資源の再発見を行い、その資源を活用した着地型観光の企画等の活動」です。

まず、地域の資源集めに自転車で町内を回りました。地域にはいろんなものがあります。神社やお寺など江戸時代から続くものや、みんなが受け継いでいる文化。そういったものを、町内外の人に知ってもらえたらいいな、日野を再発見してもらえたらいいなという思いから、「日野一期一会ツアー」の企画や、地区のマップ作りをしています。「地域間・世代間を越えた交流」をキーワードとして活動しています。

そうした活動をするきっかけとなったのは、町内の30代の方と喋った時に「日野町って何も無いところでしょ」「日野町って何も無いところでしょ」と。それを聞いた時に、若い人が地域のことに興味を持つような企画ができたらと思います。「日野町ってどういう所？」と聞かれて、「何も無い所だよ」と言う人を少なくしたい。「自分の住んでいる所にこんなものがあるんだ」と掘りおこしてもらえれば、まけになったら良いなと思いました。ま



### ◇地域おこし協力隊とは◇

「地域おこし協力隊」とは、平成21年に国がつくった制度で、人口減少や高齢化が進み人材不足にある地方が都市に住む人材を迎え入れ、地域の活性化に貢献してもらうとともに、定住・定着を図ることを目的としています。

全国の997自治体で導入され、隊員数は4,830人にのぼります。滋賀県内では彦根市、長浜市、近江八幡市など13市町で56人が活躍されています。(平成29年度)

地方での生活を望む都市部の人たちにとっては、地方への移住にあたり、最大の課題である「仕事」が得られ、双方にとって多くのメリットがあります。

活動期間は1〜3年以下で、隊員は、地方自治体から委嘱を受けた嘱託職員で、公務員という位置付けです。

# 地域に新しい風を 日野町地域おこし 協力隊活動記

日野町では、平成27年度から地域おこし協力隊として活動しています。このコーナーでは、地域に根ざし、新たな風を吹き込む隊員とその活動、想いを紹介します。



瀬 鳩 ゆりさん

6月26日(火)、日野公民館で「日野の伝統料理を継承する会」による料理教室を開催しました。16名の方にご参加いただき、日野祭の定番、鯛そつめん、や寺尻地区で食べられている、茗荷寿司を伝統料理を継承する会流に少しアレンジしたもの、そして夏にぴったりの「茄子の煮びたし」を

参加者の皆さんと一緒に作りました。参加者の方からは、「鯛そつめんを一度作ってみたかったが、紙のレシピだけではよくわからず、実際に作ってみてよくわかった。また家でも作ってみたい」「だしのとり方や一緒に食べたお漬物(きゅうりの辛子漬け)の作り方も教えてもらえ良かった」とのお声をいただきました。近年は核家族が増え、お姑さんや親などと一緒に台所に立ち料理をする、作り方を受け継ぐ機会も少なくなっていると思います。今

はWebで検索すれば色々なレシピが出てきて便利ですが、人から教わる楽しさをこの料理教室を通して様々な方に体験していただきたいです。

次回(9月20日(木))日野公民館で開催します。ぜひ、ご参加をお待ちしています。



各団体などから隊員へ講演などを依頼される場合は、事前に役場商工観光課までお問い合わせください。

隊員の活動は、日野町ホームページでも確認できます。これからも地域で活躍する地域おこし協力隊にご期待ください!

◆問い合わせ先 商工観光課 商工観光担当  
☎0748-52-6562

## 活動を振り返ってみて

いろいろな経験をさせてもらえました。様々な人がいる中で、自分のやりたいことを通していくことは非常に難しいことですが、良い経験だったと思います。マップを作るにしても、地域の人達の思いを取り入れたマップにした方が良いでしょう。いろいろ

な人と話しをすると、「こういう考えもあるんだな」「こういう人達に協力してもらえないかな」というやり方をしないといけないんだ」と思うと、それも一つの経験だなと思いました。いろんな人と関わりながら、イベントなり、何かを作ったり、ツアーをしたり、というのをさせてもらったのは非常に良かったと思います。

## 活動で嬉しかったことは

一人ではできないことなので、人のつながりでできた時はやっぱり嬉しいです。

いすね。あとは、「日野一期一会」の町内散策ツアーをやった時に「長年日野町に住んで知らなかった」という声があるなんて知らなかった」という声を聞き、それだけでやって良かったと思います。

## 日野町の好きな所は?

「人の優しさ」です。自転車でこんな格好して回って、「これ何ですか?」と聞くと結構教えてくれるんです。い人ばかりです。ほかに、子ども達の下校時に、皆

## 今後は?

このまま日野町で日野菜を作りたいです。一年間は収入にはそんなに繋がらないかもしれませんが、日野菜をやりきりたいです。

が「おかえり」とか「ただいま」というところなんです。人とのつながりや、子どもに対して集落で子育てをしている感じがすごくあるんですね。でも皆それが普通なんだと思うと、「ああ、ここからは素直な優しい子が育つのだらうな」と。それが良いと思いました。